

近代日本の都市社会政策とマイノリティ

——歴史都市の社会史——

杉本 弘幸 著

▶ A 5判・412頁／定価：本体 7,200円（税別） ISBN978-4-7842-1789-2

2015年3月刊行

近代日本の社会政策・社会福祉の受益者である社会的マイノリティはどのように政策形成に関与しようとし、政策に包摂されていったのか。蔓延する貧困と格差への対応を模索し続けている現代社会に、政策の受益者の動向から再構成した社会政策史・社会福祉史の実証研究を提示する一書。

これまで分野史ごとに行われてきた「貧困者」「労働者」への社会政策・社会福祉史研究の動向を打破し、「都市下層社会」を形成したマイノリティに対する政策的対応を統一した視点で論じる。



◎内容目次◎

序章 課題と方法

戦前期都市社会政策の構造分析をめぐる／不良住宅地区・被差別部落・在日朝鮮人／都市社会政策とマイノリティ

第1部 都市社会行政の形成と展開

第1章 都市社会行政機構の形成

京都市社会事業行政機構の成立／京都府社会事業行政機構の成立／府・市社会事業行政の相克

第2章 府県社会行政と都市社会行政の関係構造

—財団法人京都共済会を事例に—
京都府社会事業行政機構の形成と財団法人京都共済会の成立／京都府社会事業行政による社会事業施設の設置過程／京都府社会事業行政の政策形成をめぐる／大谷・海野辞職後の京都府社会事業行政の展開

第3章 都市社会事業施設の運営と市政・地域社会

—京都市児童院を事例に—
京都市児童院の組織・制度・運営／京都市児童院への社会的反応と「格差」／戦時体制下の児童院運営

第4章 都市社会行政職員の役割・特質・機能

京都市社会課調査の開始／『京都市社会課調査報告』の発刊と情報発信／京都市社会課における社会調査体制

第5章 失業救済事業と市政・地域社会

「冬期失業救済事業」の開始と「登録労働者」／「冬期失業救済事業」期における「登録労働者」の実態／恒常的失業救済事業の成立と事業への批判／失業救済事業と「登録労働者」の騒擾／循環労働制の採用と「登録労働者」の動向／戦時体制と失業救済事業の廃止

第2部 都市社会政策と社会的マイノリティ

第6章 「不良住宅地区」と地域住民の変容

京都市社会行政の地域認識／一九二〇年代の「不良住宅地区」楽只地区／一九三〇年代における楽只地区の変容過程／朝鮮人非集住地区の変容過程—一九二〇～一九三〇年代—／在日朝鮮人「リーダー層」の成長と地域秩序への参入

第7章 在日朝鮮人女性の自主的救済事業と「内鮮融和」

—「親日派新女性」金朴春の思想と行動—
「京都朝鮮人労働共済会」と「朝鮮職業婦人救済会」の成立と展開／大阪移住と「朝鮮職業婦人救済会」

第8章 都市社会政策と「内鮮融和団体」の形成と変容

自主的救済団体の形成と展開／「京都協助会」の成立と崩壊

第9章 都市社会政策の再編成と市政・地域社会

都市社会行政批判と社会事業運営の実態／崇仁隣保館の事業運営と地域社会／地域社会秩序の崩壊と再編

第10章 不良住宅地区改良事業の形成と変質

「不良住宅地区改良法」の性格と特質／京都市における改良事業計画の展開／不良住宅地区改良事業の変質過程

第11章 一九四〇～六〇年代の都市社会政策と地域住民組織

戦時体制期の都市社会政策／戦後都市社会政策体制の再構築／地域住民組織と部落解放運動

終章 総括と課題

本書の要旨／本書の意義と課題

すぎもと・ひろゆき… 1975年12月広島県福山市生。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学・大阪大学）。日本学術振興会特別研究員、龍谷大学非常勤講師を経て、現在、京都工芸繊維大学・佛教大学・立命館大学非常勤講師。


思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

（京都 取引コード 3402）

冊数	冊	近代日本の都市社会政策とマイノリティ 本体7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1789-2	
お名前		tel	
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）		

本書HPのQRコード

書店番線印

地域社会から見る帝国日本と植民地

松田利彦・陳延媛編

朝鮮・台湾・満洲

「支配される側」の視点と「帝国史」という視点——、異なるレベルの問題に有機的関係を見いだすため、国内外の朝鮮史・台湾史研究者が多彩な問題関心を持ち寄り植民地期の地域社会像を浮かび上がらせる。国際日本文化研究センター共同研究の成果。

▶A5判・852頁／本体13,800円(税別) ISBN978-4-7842-1682-6

朝鮮近代史を歩く 京都からソウルへ

太田修著

佛教大学鷹陵文化叢書20

近代史において朝鮮半島から離散していった人々など、彼らにおける植民地支配と戦争の歴史がどのようなもので、それが現代の人々によってどのように記憶されたか。その歴史と縁のある場所を訪れ、そこでの様々な出会いから生まれた成果。

▶46判・270頁／本体1,900円(税別) ISBN978-4-7842-1450-1

近代日本の歴史都市 古都と城下町

高木博志編

「古都」京都・奈良、「加賀百万石」の金沢、伊達政宗の仙台など、都市は実にさまざまな歴史性をまとっている。しかしそれらは、近代化の過程で発見され、選り取られたイメージであった。本書は「都市の歴史性」をキーワードに、分野を超えた研究者たちが参加した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」班の成果。

▶A5判・600頁／本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1700-7

近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった。近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。

▶A5判・628頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1413-6

近代地方政治と水利土木

服部敬著

淀川・安威川・神崎川の水利構造の変遷と分析、沿岸住民の治水運動と中央・地方議会と政党の対応、近代化の意味と中央集権的近代国家の性格を地域史の視座から問う。【内容】近代国家の成立と水利慣行／水利組合の成立とその機能／淀川改修運動と地方政治の動向／日露戦後の農事改良政策と水利問題

▶A5判・400頁／本体6,600円(税別) ISBN4-7842-0873-9

近代日本と地域振興 京都府の近代

高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都官津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1570-6

近代京都の施薬院

八木聖弥著

奈良時代に貧窮病者を救済するために設置された施薬院。明治維新から大正期にかけて、一開業医である安藤精軒は、貧困者への医療普及を目指し「施薬院」を復興する。「施薬院」を中心として京都医界の歴史を描き出し、近代化していく日本の一側面を考察する。

▶A5判・304頁／本体3,500円(税別) ISBN978-4-7842-1705-2

医療の社会史 生・老・病・死

京都橋大学女性歴史文化研究所編

医療の社会的展開が通史的にうかがえるようにすることを企図した論文9本・コラム4本を収録。【内容】平安中後期における貴族と医師／鎌倉幕府の医師／『本草綱目』に見る中国医療の到達点／室町・戦国期の山科家の医療と「家薬」の形成／曲直瀬玄朔とその患者たち／幕末京都における医家と医療／明治前期の村と衛生・病気 他

▶A5判・304頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1677-2

牛と農村の近代史 家畜預託慣行の研究

板垣貴志著

牛を介して取り結ばれる人々の社会関係を明らかにし、それが近代農村で果たした歴史的意義を解明する。そして歴史の片隅へ押し流されながらも、地域社会の調和と共存のために努めた名もなき農民群像を描く。進歩のかげで退歩しつつあるものを見定めた宮本民俗学に共鳴する社会経済史。

▶A5判・266頁／本体4,800円(税別) ISBN978-4-7842-1725-0

老農・中井太一郎と農民たちの近代

大島佐知子著

農業近代化の過程で重要な役割を果たした「老農」といわれた農事改良者たちは近代化のなかで忘れられた存在である。除草機「太一車」の発明者として知られる中井太一郎について、ライフヒストリーを丹念にたどりながら、彼の技術・思想や、その全国巡回を支えた組織・団体などを明らかにする。

▶A5判・388頁／本体7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1710-6

黒正巖著作集 [全7巻]

黒正巖著作集編集委員会編

全7巻構成で1920～40年代に展開された黒正史学の全貌を明らかにする。各巻に解説を付す。【構成】①百姓一揆の研究(山田達夫)／②百姓一揆論(藪田貴)／③岡山藩の研究(倉地克直)／④社会経済史の研究(土肥恒之)／⑤経済地理学の研究(竹岡敬温)／⑥日本経済史(大島真理夫)／⑦農史の研究(徳永光俊)

▶A5判・総2800頁／本体56,000円(税別) ISBN4-7842-1122-5

ミシンと衣服の経済史 地球規模経済と家内生産

岩本真一著

19世紀後半～20世紀半ばにかけて世界を席巻したシンガー社の日本進出を中心に、近代日本におけるミシンの普及と衣服産業の展開を分析。衣服産業については工場内生産のみならず家内生産にも視野を広げ、これまで断片的にしか知られてこなかった近代日本衣服産業の概要と特徴を明らかにする。

▶A5判・328頁／本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1719-9

京都の歴史災害

吉越昭久・片平博文編

歴史災害を復元することは、過去の人々の災害への対応や考え方を知ることと共に、減災の知恵を学ぶことでもある。本書では、歴史上、京都を襲ったさまざまな災害をとりあげ、地理情報システム(GIS)などによる災害範囲や規模の復原、特徴や被害発生時の社会的背景の分析、また人々の取り組みなどを論じる。

▶A5判・322頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1643-7

昭和初期一移民の手紙による生活史

中野卓・中野進共編

ブラジルのヨッチャン

昭和3年(1928)1月にブラジルへ移民として出国した中野義夫が日本へ送った書簡を中心に編纂。異国での苦難の日々、母国への想い、経済的無心、家族や兄弟姉妹のこと——海を越えて届けられた一通一通の手紙に移民の生きた声が反映されており、昭和という時代の一面面をとらえた貴重な資料ともなっている。

▶A5判・294頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1301-5

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

明治期の地方官であった北垣国道(1836-1916)の、京都府知事就任の明治14年から、北海道庁長官などを経て京都に隠遁した明治34年までの日記を翻刻。明治期地方官の実情を記した第一級資料であり、京都のみならず中央政治史や地方自治・土木史・北海道史研究の進展に寄与する資料。

▶A5判・652頁／本体9,800円(税別) ISBN978-4-7842-1499-0

原田伴彦論集 [全5巻]

原田伴彦著

日本都市史研究の開拓者である著者が、都市史研究をはじめ民衆史や部落史などを論じる。原田史学の集大成。

【構成】①都市発達史研究／②都市形態史研究／③都市社会史研究／④部落差別史研究／⑤文化芸能史研究

▶A5判・平均400頁／(各)本体6,800円(税別)

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。